

2-4 産業

(1) 施策と事業一覧

産業分野の柱：一人ひとりの関わり合いで力を合わせ拡大させる まいでいブランド

農業基盤を整える

産業の再開や拡大を後押しする基盤の整備

- 農地集積等による耕作放棄地解消、投資への支援、除染対策などを進め、生産基盤の充実を図る

生産性向上・品質向上に向けた取組みの推進

- スマート農業^{※1}の推進など、基盤整備と合わせて生産性の向上を図るための新技術導入を検討する
- 狩猟免許取得の推進など、地域や村民と協力して有害鳥獣対策を推進する

農地管理の仕組みづくり

- 各行政区による農地の管理や活用を支援する

将来に希望を持てる環境づくりと多様な関わりによる働き手・担い手の確保

多様な関わり方や産業による交流の推進

- 【重点事業】 短期間求人募集制度構築等事業（⇒P38）
- 【重点事業】 地域運営組織支援事業（⇒P39）
- 【重点事業】 飯舘産米活用推進事業（⇒P40）
- 村の景観や農業活動の向上につながる地域や地区の取組みを支援する

生きがい農業等の推進

- 【重点事業】 生きがい農業者等ステップアップ支援事業（⇒P41）
- 居住場所や暮らし方にとらわれず飯舘村の農業に関われる機会を増やすことで農業を維持・活性化させていく農業版共助の仕組みをつくる
- 再開した方の情報や支援制度など農に関する情報を発信し、農業の再開を促進する
- いいたて流の暮らしの原点である自給文化の復活を促進する

担い手の確保

- 【重点事業】 新規就農者向けコーディネート等推進事業（⇒P42）
- 農業の担い手確保を推進するため次世代向けの参加実習の開催などにより農業の魅力を発信する
- 農業体験や就農体験、講習会、インターンの受入等を通じて担い手の育成・確保を進める
- 事業者が将来に希望と誇りを持ち働ける環境をつくる
- 【重点事業】 畜産農家増加推進事業（⇒P43）

次ページに続く

※1 スマート農業：ロボット技術や情報通信技術、人工知能等の先端技術を活用して、超省力化や生産物の品質向上を可能にする新しい農業のこと。

産業分野の柱：一人ひとりの関わり合いで力を合わせ拡大させる まいでいブランド

まいでいブランドの拡大

ブランド拡大

- 子どもから高齢者まで村の産業に関わったり、想いや愛情等のイメージを大切にしたりしながら、まいでいブランド等の村のブランドを拡大する
- 風評被害の解消を目指す

風土を活かした加工品の開発

- 地産地消を基本とした新しい加工品開発への支援による魅力ある農産加工品の開発を行う

村独自の新品種などの作付け支援

- きのこ・山菜・野菜など飯館の気候風土を活用した農畜産物等の開発・評価向上・活用を推進する
- 健康志向の高まりに合わせて農業振興を図るため、キラリボシ^{※1}など健康に良い健康優良作物の栽培を促進する

多様な流通や販路拡大の支援

- 生産現場での取組と一体的に安定した流通を目指し、高収益な農業を行う拠点・施設等を整備する
- 村の産業の拡大を図るため、村を応援してくれる方や周辺市町村との交流やモノによるつながりを深める
- 販路先の確保、新規開拓を進める
- 生産者グループが行う情報発信、PRのためのパンフレット作成支援など生産物の販売・加工等について支援する

農業の経営安定化の支援

- 経営計画等のコンサルティングの導入支援、事業計画等のマネジメント導入支援など農業の経営安定化へ向けた支援を行う
- 農業経営基盤の強化へ向けた事業者の活動を支援する
- 農業の再開や新規参入促進のため、既存の支援制度の拡充・周知を図る

産業の発展

ニーズの的確な把握

- 日常生活の利便性を向上させるため、掲示板の整備などにより村民のニーズを事業者へ伝達する仕組みをつくる

事業再開や創業支援及び企業誘致等

- 賑わいの増大や村民生活の向上等のため、村内で事業の再開や創業をしようとする者への支援を行う。また、村内での雇用の場の確保等のため企業の誘致を行う。いずれも、原則として業種にはこだわらない

資源を活用した商工業振興や地域活性化の支援

- 商工業の活性化を図るため、女性や若手など新しいリーダーの育成や商工会活動の活性化への支援を行う

森林の保全

森林の保全

- 森林や森林環境を保全し、山の魅力復活・里山再生を推進する
- 森林の整備や管理を計画的に進め、林産業を促進し、森林の持つ機能を維持する

※1 キラリボシ：新品種の菜の花。搾油後の油粕は、有機肥料や飼料にも活用することができる。

(2) 重点事業

事業名 短期間求人募集制度構築事業

繁忙期に一時的に必要となる短時間・短期間での求人募集や通い農業など、誰もが柔軟に、楽しく働き、交流につながる環境をつくることで、経営規模拡大や村内外の交流拡大につなげます。これらを通じて知り合った人に対し、各事業者が直接短時間の作業を依頼できるような関係づくりを促進します。また、この農業の求人システムには、印象に残る名前を検討します。実現イメージは次の通り、2パターン程度を想定します。

パターン①・・・村で農家や事業者の求人を取りまとめ、大学や商工会等に求人依頼を行い
数人～10人程度を毎年短期間雇う。

パターン②・・・10日程度前から少人数かつ短時間～数日の求人を行う。地域お助け合い
事業の内容を拡充する等で実施。

【工程表】

年度	全体	農家・商工業者等	村（産業振興課）
R3	・準備期間	・村からの調査に協力	・先進事例ヒアリング ・短時間求人募集制度の仕組みづくり ・商工会や各農家等へのニーズ調査
R4	・事業者の所得の向上や交流活性化が図られている	・村への求人依頼	・求人制度開始 ・求人の取りまとめと求人情報の発信
R5	↓	・村への求人依頼だけでなく、各事業者が知り合いに直接短時間作業を依頼できる関係性を作っていく	↓
R6	↓	↓	↓
R7	↓	↓	↓

事業名 地域運営組織支援事業

地域運営組織^{※1}の立ち上げや活動を支援することにより、農業推進・特産品やふるさと納税の返礼品づくり・農地管理・雇用促進・土産物開発などの促進を行います。

また、村民の困りごと（草刈り・雪かき・ごみ捨て・運転等）の解決に取り組む地域運営組織の活動や立ち上げも支援します。

将来的には、地域運営組織が複数地域で立ち上がることによる地域活性化を目指します。

【工程表】

年度	全体	行政区・商工会等	村（産業振興課）
R3	<ul style="list-style-type: none"> 既存の地域運営組織の活動が村内に周知される 地域運営組織立ち上げに向けた動きが各地域で進んでいく 	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営組織に関する視察や勉強会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 先進事例の視察やヒアリング 村民への情報提供や勉強会の開催
R4	↓	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営組織に関する視察や勉強会への参加 商工会による地域運営組織立ち上げや通信販売支援等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営組織立ち上げ支援の実施 相談窓口に円滑に案内できる体制確立又は相談窓口の設置 地域運営組織の活動支援の実施 先進事例視察、勉強会の継続
R5	↓	↓	↓
R6	↓	↓	↓
R7	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営組織が複数地域で立ち上がることにより地域が活性化している 	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営組織を新たに立ち上げる 	↓

※1 地域運営組織：地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成し、地域が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する組織（総務省）。人口減少や高齢化等により自治会・町内会が従来の役割を果たすことが困難となる地域が出てきている中、地縁組織としての自治会等と並行して、具体的に生活支援の機能を補う組織である。法人化し事業収益により財源を確保するケースもある。飯館村では大久保・外内地区で「いいたて結い農園」がエゴマ栽培を行っている。地域の交流活性化、農地の活用、高齢者の収入確保、特産品の生産等、活動を通じて地域の諸問題が解決・改善されることから、全国的に注目を集めている。

